

Fukushima
Architects
Building Engineers
Association

NEWS

公益社団法人
福島県建築士会
会員広報講習委員会

Page-2
正副会長あいさつ

Page-3
正副会長あいさつ
青年委員会

Page-4
女性委員会



第23回ふくしま住宅建築賞
最優秀賞「集いの家」(郡山支部 阿部直人氏)

会報「建築士」3月号付録

ふくしま建築士会たより

正副会長あいさつ

会長 遠藤一善



本年度より福島県建築士会会長を仰せつかりました双葉支部の遠藤一善です。

微力ではありますが建築士会の更なる発展に向け頑張っておりますので、今後とも会員皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。

私事ではありますが、25年前に県青年委員長に就任以来、諸先輩、同輩、後輩の皆様とともに様々な建築士会活動を行って来たことは私のかけがえのない財産であります。12年前の東日本大震災と原子力発電所事故による避難生活が始まってからも、建築士の仲間の支えがあり今も元気に活動が出来ることに改めまして感謝申し上げます。

さて、現在の建築士を取り巻く社会情勢は課題が山積しており、少子高齢化、脱炭素社会、災害からの復興等、どの問題を見ても建築士の関わりが重要になっております。会員の活動も設計、施工にとどまらず多様な職域において専門職として関わっており、このことは建築士会の強みであり、社会においては無くてはならない職種だと自負しております。建築士の役割と存在を更に社会に認めてもらえるように積極的に建築士会の広報を進めて行く所存です。

県内各支部において若者の人口減少により、建築士資格取得者が減少の一途をたどっており将来の士会存続が危ぶまれる状況が発生しております。今後の福島県建築士会の方向性を考えるべく「特命委員会」で諸問題を検討しており、来年度には委員会からの提言をもとに皆様との話し合いを進めて行きますので忌憚の無いご意見をお願い致します。

最後になりましたが、会員各位の益々のご活躍と健康をご祈念申し上げあいさつと致します。

副会長 高橋孝行

総務委員長、特命委員会委員長



本年度通常総会において副会長を仰せつかりました郡山支部支部長の高橋孝行です。

何卒よろしくお願いいたします。

私たち建築士会の活動は、この3年あまり新型コロナウイルス感染症の影響により多くの制限を受け、試行錯誤しながらも建築士としての活動は積極的に行って参りました。

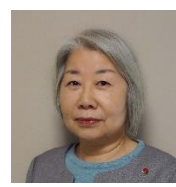
また昨年、一昨年と連続して発生した大震災においては、各支部会員は建築士としての責務を果たして参りました。

70年以上にわたり建築士会は建築士としての知識、技術の向上を目指し、また会員の活動を通して地域社会に貢献して参りました。

「会員のため」「社会のため」の福島県建築士会として発展できるように私に与えられた職務を精一杯取り組んで参りますので、会員の皆様のご協力をお願いいたします。

副会長 菅野真由美

会員広報講習委員長(広報担当)



今年度より副会長を務めさせていただきます福島支部の菅野真由美です。

遠藤会長を助け、副会長の皆さまと力を合わせながら本会発展のために努力してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

また、会員広報講習委員会の会員広報も担当させていただきます。

しばらく発行を見合わせておりました「ふくしま建築士会たより」の再開や、ホームページの充実など、会員の皆さまのお役に立てる情報発信のあり方を考えてまいります。

魅力ある活動が展開できますよう、皆さまのご参加とご協力をよろしくお願いいたします。

副会長 田勢光夫

会員広報講習委員長(講習担当)



凡事徹底「隗より始めよ！」

- 資格登録者、110万人、内土会員数7万人
- 少子高齢化、右肩下がりの資格者数

同様のハードルは当会に限りません。地道な活動以外に組織の価値観創出はないと確信して活動する所存です。皆様の忌憚無きご意見お力添えを、切にお願い致します。

さて、私事ですが平成の初めに支部青年委員として全国大会神戸に参加、以来、青森・福井・長崎・・・昨年の秋田、各大会での意見交換は貴重な経験として今に生きてると自負します。生業の中、土会活動に満点を求める必要はなく「やってみたい！行ってみよう！」を、無理なく・楽しく実践すること。

まずは、「隗より始めましょう」

副会長 作山栄一

まちづくり委員長



本年度より副会長を務めます、いわき支部の作山栄一です。よろしくお願いいたします。

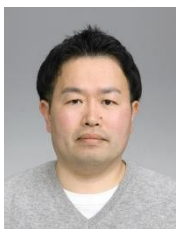
会務はまちづくり委員会で、令和5年度では、これまで継続して行ってきたヘリテージマネージャー養成講座と、令和4・5年度の2カ年継続で行われる、近現代建造物緊急調査事業を担当いたします。

今後は、まちづくり委員の皆様と一緒に、建築士会の活動を盛り上げられるよう、新しい事業活動にも取り組んでいきたいと考えています。

魅力ある建築士会活動を目指して、微力ながら一杯務めていきたいと思っていますので、会員の皆様のご理解とご支援を衷心よりお願い申し上げます。

青年委員会

委員長 戸倉 誠



令和2年度より、第9代目青年委員長に就任致しました白河支部の戸倉誠です。

このような大役を仰せつかるには、まことに微力でございますが、諸先輩各位ならびに各支部の青年委員の皆様のご助言、ご協力をあおぎ、活動に邁進してゆく決意でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、委員長就任にあたり、抱負を申し上げます。

これまで、諸先輩の活躍で隆盛してきました青年委員会ではございますが、コロナ渦を引鉄に活動が一気に低迷し、各支部活動も多くは凍結した状況です。加えて、若手建築士の入会の減少が顕在化しており、青年委員会の年齢層も40代が主となってきています。

今後とも、建築士会青年委員会は、自宅、仕事場以外の第三の居場所としてのサードプレスであり、われわれにとっては合理的な恩恵を得ることのできる場でなければなりませんし、立場の違ういろいろな職が集まる建築士会の利点を活かし、多様な人脈を構築できるようにタテ・ヨコ・ナナメの関係を培える場として青年委員会を機能させていきたいと考えています。

現在は、昨年度より活動しているアーコレ2022を取り纏めています。2023年3月25日(土)に行われる公益社団法人日本建築士会連合会東北ブロック会青年建築士連絡協議会第12回東北ブロック青年大会ふくしま大会×公益社団法人福島県建築士会青年委員会第37回福島県建築士会青年の集い内で参加者に冊子を配布し、その後、建築士会HPで電子版を配布できるように計画をしています。

今後とも、皆様方のあたたかいご理解ご協力を心からお願い申し上げます、就任のごあいさつと致します。



各年アーコレフライヤー

建築士会報に封入させて頂きました

女性委員会

委員長 村越のぞみ



この度、女性委員会 委員長を拝命致しました、郡山支部の村越のぞみと申します。不慣れで至らない点が多々あると思いますが、精一杯務めさせていただきますので、どうぞ宜しくお願いします。

さて、女性委員会は 1989 年（H1）に設立されて以来、翌年の 1990 年より 30 年以上に渡り毎年開催している「女性建築士のつどい」をはじめ、各種勉強会や他県の女性会員との交流等、多種多様な活動を続けて参りました。

この数年は新型コロナウイルス感染症の影響で活動にも暗い影が落ちたものの、大会をリアルと WEB 配信のハイブリッド形式で行うなど、新しい試みを始めております。

昨年 5 月には東北ブロック会 女性委員会ふくしま大会を「とうほく発 SDGs」と題して郡山市にて開催し、県内外からリアル、オンライン合わせて 105 名が参加。基調講演の日本大学工学部 中野和典教授をはじめ、各県の活動発表をフルカラーの冊子にまとめて参加者に配布するなど、活動の「記録を残す」作業も同時に行っています。

また、7 月には連合会が主催する「全国女性建築士連絡協議会」が開催され、本県から 2 名が分科会の講師を務めました。10 月には秋田の全国大会に合わせて東北ブロック女性委員会合同で「魅力ある和の空間ガイドブック 東北版」を発行するなど、女性ならではの視点と感性を活かしつつ、精力的に活動を続けております。

今後も女性委員会を宜しくお願い申し上げます。



第 33 回「女性建築士のつどい」
Web 併用にて東北ブロック福島大会と共催
テーマは「とうほく発SDGs」



日本大学工学部 教授 中野和典 様 講演
「水を浄化するロハスの花壇の開発と応用」

ふくしま建築士会たより



公益社団法人 福島県建築士会

〒960-8043 福島県福島市中町4番20号 みんゆうビル3F
Tel:024-523-1532 / fax:024-523-4644 / E-mail:info@fukushima-aba.or.jp
HP <http://www.fukushima-aba.or.jp/>